

日時 令和2年9月25日（金）14：30～16：15

場所 鹿児島市立図書館 2階 AVホール

出席者 図書館協議会委員10名、事務局8名

### 〈会次第〉

- 1 開会
- 2 委嘱状交付
- 3 自己紹介
- 4 図書館長あいさつ
- 5 議事
  - (1) 令和元年度事業報告及び決算
    - ア 利用状況
    - イ 事業の実施状況
    - ウ 講座等の実績
    - エ 決算
  - (2) 令和2年度事業計画及び予算
    - ア 事業計画
    - イ 講座等の予定
    - ウ 予算
  - (3) 基本的運営方針の指標の進捗状況について
  - (4) 前回（令和2年2月）の図書館協議会における主なご意見について
  - (5) 鹿児島市立図書館資料収集方針の改正方針（案）について
  - (6) 鹿児島市立まちなか図書館（仮称）の空間イメージ及び子ども什器について
- 6 その他
- 7 閉会

### 〈議事概要〉

#### 議事(1) 令和元年度事業報告及び決算

##### 委員

令和2年度事業計画にある、「障害者」という文言については、特別支援学校の児童も含めれば「障害児者」など、言い方が多様であると思うが、このままでいいのか。

##### 事務局

録音図書やデージー図書については、障害者に特定せず、障害を持っていない高齢者等も利用いただけるような取り組みが必要であると思われるため、「障害者等」の表記に変更するなど検討していきたい。

委員

市立図書館が活気づくかどうかは職員の力にかかっている。職員が研修会に参加した際には、上司への報告にとどまらず、職員全員で情報共有し、図書館職員の資質向上、市民サービスの向上につなげてほしい。

事務局

上司への報告及び職員全員への回覧に加え、一部は研修報告というかたちで職員に還元しているところではあるが、図書館の活気につながるよう今後活かしていきたい。

委員

決算報告を受けたが、まちなか図書館（仮称）整備事業費の用途は何か。

事務局

パブリックコメントを含めた基本計画の策定に要した経費がほとんどである。

委員

事業計画のなかで録音図書、デージー図書の充実がみられるが、視覚障害者の方など、どのくらい利用があるか。

事務局

あまり利用されていないのが現状である。広報が足りないと思われる。今年度、特別支援学校と連携し、どのようにしたらたくさん提供できるかを模索しているところである。

委員

ハートピアと連携しているのか。

事務局

昨年から情報共有するなどしている。

委員

学校と自宅の行き来に制限されてしまう障害児が色々なところに出かけることが大事であるし、健常児が録音図書等の存在を知ることも大事である。

事務局

小学校の子どもたちに存在を知ってもらうような取り組みを始めているところである。

委員

貸出はできるのか。

事務局

貸出できるものもあるが、点字図書など、手帳を所持している方などに限定しているものもある。

## (2) 令和2年度事業計画及び予算

委員

遠方の方にとっては、学校支援図書の学校への配送・返却を実施していただけるのはありがたい。貸出・返却にあたってどのような手続きを行えばよいのか。

事務局

FAXで希望を流してもらい、こちらで箱詰めするが、費用の問題もあるので、移動図書館車の活用、配送業者への委託など様々な手段を模索しているところである。今年度試行的に実施する予定である。

会長

今年度試行的に実施しているということを知らない学校も多く、広報が必要と思われる。

事務局

研修会等の機会でお知らせし、ご意見をいただいているところである。

委員

今年度の対象は全校か。

事務局

遠い地域にある、以前から要望があったところのみである。

委員

県立図書館も集団貸出をしており、配送まで検討している状況である。学校図書館支援センターが鹿児島県にはないので、特に市立図書館への期待は大きいと思われる。全県的に行政がバックアップできる体制を整えることが大事だと思う。

会長

すぐにはできないことも多いと思うが、時間をかけて少しずつできることから取り組むことが大事である。

委員

学校司書向けに学校支援図書の貸出リストを提供してはどうか。

委員

大学は来年前期まで遠隔授業になると思う。その中で大学教員の立場から学生へボランティア参加を勧めにくい雰囲気であり、しばらく派遣は難しいと思う。

事務局

鹿児島大学にはボランティアセンターがあるので、どうやって学生にボランティア参加を促し、学生の安全を確保するか、担当者と協議し、知恵を出し合うことが大事である。

### (3) 基本的運営方針の指標の進捗状況について

会長

目標に達していない指標があるが、コロナ禍で人の動きが悪くなっているなかで、実績1の入館者数については大幅な減ではないため評価している。

おはなし会・講座等の参加者数については、少子化の現状もあり、今後右肩上がりの増加を望むのは難しいのではないか。令和3年度目標設定する際には、市の人口（子どもの数）も分析材料に入れる必要があり、魅力のある講座づくりに取り組んでほしい。

### (4) 前回（令和2年2月）の図書館協議会における主なご意見について

特になし

### (5) 鹿児島市立図書館資料収集方針の改正方針（案）について

会長

見直し案は理論的、体系的に検討されていると思う。

委員

郷土資料については、なにをもって「郷土」と位置づけるのか。バリアフリー資料については、見直し案のどの基準に含まれることになるのか。

事務局

次回の協議会でお答えしたい。

委員

全国学校図書館協議会（全国SLA）は、マンガ資料などについても、ある程度基準を定めているので参考にしてみてもどうか。

### (6) 鹿児島市立まちなか図書館（仮称）の空間イメージ及び子ども什器について

委員

まちなか図書館は分館扱いとなり、窓口業務についても業務委託等を取り入れることになると思うが、管理運営についてはどのように決めていくのか。

事務局

現在、サウンディング型市場調査を行っているところであり、年内には庁内で管理運営の方向性を固めて、協議会でお示ししたい。

委員

コロナ禍で人が殺到する場合は、入場制限等を行うことも考えられるのか。

事務局

他都市でオープンした図書館で人が殺到した事例もあり、入場制限等必要かどうかも含めて対応を検討していきたい。

## 委員

子ども什器のイメージ図を見ると、靴を脱いでいるようだが、盗難等のトラブルが起きる可能性もある。

## 会長

まちなか図書館については、次回までに委員も資料に目を通していただき、様々なご意見を出していただければありがたい。

## 事務局

本館とは立地も市民に与える影響も違う、まちなか図書館を使いこなしていくことが大事。施設活用の案も出していただきたい。

## 委員

コロナから職員や利用者を守るために、除菌ボックスをカウンターへ設置することを検討してほしい。大学図書館では設置している。書棚やカウンターと同じように、必要なものとして来年度予算に組み込んでほしい。

コロナが感染拡大し、図書館が閉館した際には事前予約を行ったうえで広い駐車場を利用した、ドライブスルー型の貸出なども検討してほしい。

## 事務局

除菌ボックスについてはご意見として承る。

ドライブスルー型の貸出については、館内でも意見が出たところであるが、閉館時に利用者へ本をどのように提供するか今後検討していきたい。

## 委員

センター試験直前は学生の研修室利用者増が見込まれるが、どのような対策を検討しているか。

## 事務局

現在、研修室では、利用者カードを配布し、入替制を導入している。換気や机の消毒作業、席の間隔を空けるなどの対策を行っているところである。

## 事務局

クラスターが万一発生すると、受験生の受験機会を奪うことになる。慎重に対応を検討していきたい。

## 委員

学生は、大学図書館が閉館すると本が借りられず、卒論が書けないということがある。市立図書館にも電子書籍があるといい。

委員

コロナ対策にオゾン発生装置が有効であると耳にした。予算もかかると思うが、狭い部屋、人が集中する部屋だけでも導入を検討してほしい。

委員

子どもたちは長編本を普段忙しくて読まない傾向にあるが、コロナ禍で時間ができたと思うので図書館が今しか読めない長編本というかたちで推薦してみてはどうか。

## 6 その他

特になし

会議終了